

安倍首相 辞任へ

体調悪化 職務継続困難に

第2次政権 7年半

安倍晋三首相(65)は辞任する意向を固めた。政権幹部が28日、明らかにした。自身の体調が悪化し、首相の職務を継続するのは困難と判断した。2012年12月の第2次内閣発足から約7年半。意欲を示した憲法改正や北朝鮮拉致問題の解

決に道筋を付けられないままの退陣となる。「安倍1強」と評されたが、新型コロナウイルス対策は迷走し、内閣支持率は下落傾向に入っていた。自民党は速やかに総裁選を実施し、新総裁を選出する。

首相は今年17日、東京・信濃町の慶応大病院で約7時間半にわたって「日帰り検診」を受け、24日に再び受診した。第1次内閣時の07年には持病の潰瘍性大腸炎が悪化して退陣。その後は薬の効果もあって12年12月の第2次内閣発足以降、

激務をこなしていたが、日帰り検診をきっかけに、政府、与党内で体調不良説がささやかれていた。



新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で発言する安倍首相＝28日午後、首相官邸

「ポスト安倍」候補には自民党の岸田文雄政調会長や石破茂元幹事長らが意欲を示している。政治空白をつくるべきではないとして安倍政権を支え続けた菅義偉官房長官を推す声もある。